

8番の歌 エホバは避難所

「誰に仕えるかを.....自分で選びなさい」

「私と私の家の者はエホバに仕えます」。ヨシュア 24:15 もしエホバに仕えることが良くないと思えるなら、川(ユーフラテス川のこと)の向こうで父祖たちが仕えた神々であれ、今住んでいる土地のアモリ人の神々であれ、誰に仕えるかを今日自分で選びなさい。しかし、私と私の家の者はエホバに仕えます」。

ポイント：私たちがエホバに仕える生き方を選んだのはどうしてでしょうか。

1. 本当に幸せになるためには何をする必要がありますか。どうしてですか。 (イザヤ 48:17, 18)

優しい天のお父さんエホバは、私たちのことをとても愛していて、今も将来も幸せに生きてほしいと願っています。 (伝 3:12, 13 私はこう結論した。生涯の間、喜び、善を行う。人にとってこれ以上の幸せはない。 13 人は皆、食べ、飲み、一生懸命働いて充実感を得るとよい。それは神からの贈り物なのだ。) それで私たちが楽しく生きていけるよう、いろいろな能力を与えてくれています。でも、エホバが人間に与えていない能力もあります。例えば、①人を上手に治めることや、②何が正しくて何が悪いかのしっかりした基準を設けることはできません。 (伝 8:9 私はこの全てを見た。地上で行われた全てについて真剣に考えた。これまでずっと、人は人を支配し、人に害を及ぼして(*人を傷つけて/人の損失となって)きた。エレ 10:23 エホバ、私はよく知っています。人は自分の道(*生き方)を定めることができません。自分で自分の歩みを導くことができないのです。) 人間が本当に幸せになるには、エホバに仕え、エホバが決めた基準に沿って生きていくことが必要です。エホバはそのことをよく知っています。 (イザヤ 48:17, 18 あなたを救う(*買い戻す)方、イスラエルの聖なる方、エホバはこう言う。 「私エホバは、あなたの神である。あなたのためになる生き方を教え、あなたを導いて正しい道を歩ませる。 18 あなたが私のおきてに注意を払いさえすれば！ そうすれば、あなたの平和は川の流れのように豊かになり、あなたの正しい行いは海の波のように多くなる。 を読む。)

2. サタンは人間にどんなことを信じ込ませようとしていますか。それに対してエホバはどうしましたか。

2 サタンは人間に、エホバがいなくても幸せになれる、自分のしたいように生きていい、と信じ込ませようとしています。 (創 3:4, 5 蛇は女に言った。「あなたたちは決して死にません。 5 その木の実を食べた日に、目が開かれ、あなたたちが神のようになって善悪を知るようになることを神は知っているのです。) エホバはサタンのその主張が間違っていることを証明するため、人間が一定期間、自分たちを治めることを許してきました。でもその支配がうまくいっていないことは誰の目にも明らかです。一方で、聖書にはエホバに仕えることから本当の幸せを味わってきた人たちがたくさん出てきます。イエス・キリストがまさにそうでした。この記事では、まず①イエスがどうしてエホバに仕えることを選んだのかに注目します。次に、②エホバを

崇拝するのが当然といえるのはどうしてか調べます。最後に、③私たちがエホバに仕えたいと思うのはどうしてかも考えます。

イエスがエホバに仕えることを選んだのはどうしてか

3. サタンはイエスにどんな話を持ち掛けましたか。 イエスはどんな選択をしましたか。

3 イエスは人間として地上にいた時、誰に仕えるかという選択を迫られました。イエスがバプテスマを受けたすぐ後、サタンはイエスに、一度でも自分を崇拝すれば世界の全ての王国をあげましょう、と持ち掛けました。イエスはこう答えました。「離れ去れ、サタン！『あなたが崇拝すべきなのはエホバ神であり、この方だけに神聖な奉仕をしなければならない』と書いてあるのです」。（マタ 4:8-10）さらに、悪魔はイエスをとりわけ高い山に連れていき、世界の全ての王国とその栄光を見て、9言った。「ひれ伏して私を崇拝するなら、これら全てをあげましょう」。10 その時、イエスは言った。「離れ去れ、サタン！『あなたが崇拝すべきなのはエホバ神であり、この方だけに神聖な奉仕をしなければならない』と書いてあるのです」。）イエスがエホバに仕えることを決意していたのはどうしてでしょうか。理由を幾つか考えてみましょう。

4-5. イエスはどんな理由でエホバに仕えることを選びましたか。

4 イエスがエホバに仕えることを選んだ一番の理由は、①エホバを愛していたからです。その愛はどんなことがあっても変わりませんでした。（ヨハ 14:31 しかし、私が父を愛していることを世の人々が知るために、父が命じた通りにしています。立ちなさい。出掛けましょう。）さらに、②エホバに仕えるのは正しいことだと分かっていました。（ヨハ 8:28, 29 それでイエスは言った。「あなた方は、人の子を杭に掛けた後に、私がその者で、何事も自分の考えで行っていたのではないことを知ります。私は、父が教えてくださった通りに、これらのことと話をしています。29 そして、私を遣わした方は共にいてくださり、私を独りだけにはしませんでした。私は常に、その方が喜ぶことを行うからです」。啓 4:11 「私たちの神エホバ(*), あなたは栄光と栄誉と力を受けるのにふさわしい方です。あなたが全てのものを創造されたからです。全てのものは、あなたの意志によって存在するようになり、創造されました」。）イエスは、命がエホバから来ていること、そしてエホバがいつも信頼でき、良いものを惜しみなく与えてくれる方だということも知っていました。（詩 33:4 エホバの言葉は正しく、神が行うことは全て信頼できる；36:9 あなたは命の源。あなたの光によって私たちは光を見ます。ヤコ 1:17 良い贈り物、完全な贈り物は全て、天から、光(*天体の光)の父から来ます。父は移り変わる影のように変化したりはしません(*父には影の移動による変化もありません)。）エホバがいつも真実を語ることや、自分が持っているものは全てエホバから来ていることを認めていました。（ヨハ 1:14 こうして、言葉は人間となって私たちの間に住み、私たちは彼の栄光、独り子が父から受けた栄光を目にした。彼には神の恵みと真理が満ちていた。）一方、サタンはエホバとは全く違っていました。サタンは人間が罪を犯して死ぬように仕向けました。うそつきで欲深く、自分のことしか考えていません。（ヨハ 8:44 あなた方は、あなた方の父、悪魔から出ていて、自分たちの父が欲することを行おうとしています。その者はその始まりから人殺しで、真理から離れました。真理を好まないからで

す。彼にとって、うそを語るのは自然なことです。うそつきで、うその根源(d*父)だからです。) イエスはエホバの素晴らしさもサタンの卑劣さもよく知っていました。それで、エホバに背を向けて反逆することなど、考えもしませんでした。 (フィリ 2:5-8 キリスト・イエスと同じ考え方をしてください。 6 キリストは神のような方でしたが、神と同等になろうなどと考えることさえしませんでした。 7 かえって、全てを捨てて奴隸のようになり、人間になりました。 8 その上、人として来た時、謙遜さを示し(*自分を低く見て)、死に至るまで従順でした(*になりました)。 苦しみの杭(*)に掛けられて死ぬことを受け入れたのです。)

5 ほかの理由もあります。 ③ イエスは自分がエホバに忠誠を尽くすならどんな良い結果になるかを見つめしていました。 (ヘブ 12:2 私たちの信仰を導き、完全にしてくださる方であるイエスを一心に見つめながら走るのです。イエスは、前途にある喜びのために、恥を物ともせず苦しみの杭(*)に耐え、神の座の右に座りました。) (イエスは) 最後まで諦めないなら、エホバの名前を神聖なものにすることができます。また、サタンのせいで人類に入り込んだ罪と死などの悪いものを取り除くこともできます。

エホバを崇拜するのが当然といえるのはどうしてか

6-7. 今、多くの人がエホバに仕えていないのはどうしてですか。でもエホバを崇拜するのは当然といえるのはなぜですか。

6 今、多くの人はエホバに仕えていません。エホバがどんなに素晴らしい方かも、私たちのためにどんなことをしてくれたかも知らないからです。パウロが伝道したアテネの人たちもそうでした。 (使徒 17:19, 20 人々はパウロを捕まえてアレオパゴスに連れていき、こう言った。「あなたが話しているこの新しい教えがどういうものなのか、分かるようにしてもらえるだろうか。 20 あなたは耳慣れない事柄を持ち込んでいる。どういう意味なのか知りたいのだ」, 30 確かに、神はそうした無知の時代を見過ごしてきましたが、今では、悔い改めるべきことをあらゆる場所の全ての人に告げています, 34 パウロに加わって信者となった人もいた。アレオパゴス裁判所の裁判官デオヌシオ、ダマリスという女性などである。)

7 パウロはアテネの人々に、「全ての人に命と息と全ての物を与えていた」 本当の神がいることを伝えました。「私たちは神によって命を持ち、動き、存在しています」とも言いました。エホバは「1人の人から全ての国の人を造った」 創造者です。それで、エホバを崇拜するのは当然のことといえます。 (使徒 17:25, 26 人間に世話をもらう必要もありません。神自身が全ての人に命と息と全ての物を与えていたからです。 26 そして、1人の人から全ての国の人を造って地上全体に住まわせ、さまざまな事柄の時を定め、人が住む所の限界を決めました, 28 私たちは神によって(d*の内に)命を持ち、動き、存在しています。皆さんの詩人の中にも、『われわれもその子供(*子孫)である』と言っている人たちがいます。)

8. エホバはどんなことは決しませんか。私たちを愛しているので、どんなことをしていますか。

8 エホバは全てのものを造った宇宙の主権者なので、自分に仕えるよう強制することもできます。でも決してそんなことはしません。そうする代わりに、自分が実在していて、人間一人一人

を深く愛していることが分かるようにしてくれています。エホバは1人でも多くの人に永遠に生きて、自分との友情を楽しんでほしいと思っています。（テモ一2:3, 4 そのように祈ることは、私たちの救い主である神から見て良いことであり、受け入れられることです。4 神は、あらゆる人が救われて、真理の正確な知識を得ることを望んでいます。）のためにエホバは私たちをトレーニングし、これからエホバがどんな素晴らしいことをしようとしているか、上手に語れるようしてくれています。（マタ 10:11-13 どんな町や村に入っても、ふさわしい人を探し出し、去るまではその人の所に滞在しなさい。12 家に入る時には、家の人たちにあいさつをしなさい。13 その家がふさわしいなら、あなたたちの願う平和がそこにとどまるようにしなさい。しかし、ふさわしくないなら、その平和を自分のもとに戻らせなさい；28:19, 20 それで、行って、全ての国の人々を弟子としなさい。父と子と聖なる力の名によってバプテスマを施し、20 私が命令した事柄全てを守るように教えなさい。私は体制の終結までいつの日もあなたたちと共にいるのです。）また、私たちを大切に思っているので、会衆や優しい長老たちを通して世話を受けられるようにしてくれています。（使徒 20:28 自分自身と群れ全体に注意を払ってください。神が聖なる力によって皆さんを群れの監督に任命しました。神の会衆を牧者として世話をするためであり、その会衆を神は自分の子の血によって買い取ったのです。）

9. エホバが全ての人を愛していることはどんなことから分かりますか。

9 エホバの大きな愛は、エホバのことを信じようとしない人にも表されています。歴史を通じてこれまで何十億もの人たちが、何が正しくて何が悪いかを自分で決めて、その基準に沿って暮らしてきました。エホバはそのような人たちにも必要なものを与えるだけでなく、生活を楽しめるようにもしてきました。（マタ 5:44, 45 しかし私は言います。敵を愛し続け、迫害する人のために祈り続けなさい。45 自分が天にいる父の子であることを示すためです。父は悪人にも善人にも太陽を昇らせ、正しい人にも正しくない人にも雨を降らせてくださるのです。使徒 14:16, 17 昔、神は全ての国の人々がそれぞれの道を進むままにしました。17 それでも、善いことを行って、ご自分のことを明らかにしていました。天からの雨と実りの季節を与え、食物を豊かに供給して人々の心を喜びで満たしたのです。）温かい友情を築いたり、家族を持って子育てをしたり、働いてやりがいを感じられるようにもしてくれています。（詩 127:3 子供はエホバからの財産、子は神からの贈り物。伝 2:24 食べ、飲み、一生懸命働く充実感、人にとってこれ以上の幸せはない。私はこれもまた、真の神からのものだと気付いた。）こういうことを考えると、エホバが全ての人を愛していることが分かります。（出 34:6 エホバはモーセの前を通り過ぎつつ、こう宣言した。「エホバ、エホバ、憐れみ深く、思いやり(*慈しみ)がある神、すぐに怒らず、搖るぎない愛(*愛ある親切)に満ち、常に信頼できる(*真実を語る)。）これから、①私たちがエホバに仕えたいと思うのはどうしてか、幾つかの理由を考えます。②エホバが自分に仕えることを選んだ人にどう応えてくれるかも考えましょう。

私たちがエホバに仕えたいと思うのはどうしてか

10. (ア) 私たちがエホバに仕える一番の理由は何ですか。（マタイ 22:37） (イ) エホバの優しい思いやりについて考えると、どんな気持ちになりますか。（詩編 103:13, 14）

10 私たちもイエスのように①エホバを心から愛しています。それがエホバに仕える一番の理由です。 (マタイ 22:37 イエスは言った。『あなたは、心を尽くし、知力を尽くし、自分の全てを尽くして、あなたの神エホバを愛さなければならない』。を読む。) エホバがどんな方かをよく知ると、エホバに引き付けられます。例えば、エホバは人間のことを思いやり、進んで許してくれます。イスラエル人が反逆した時も、エホバは「どうか、悪い行いをやめ……てほしい」と訴えました。 (エレ 18:11 どうか、ユダの人たちとエルサレムの住民に言ってほしい。『エホバはこう言っている。『私は災いをもたらそうとしており、あなたたちに対して策を巡らしている。どうか、悪い行いをやめ、生き方や習慣を改めてほしい』。) エホバは私たちが完璧ではなく、土でできているにすぎないことを覚えています。 (詩編 103:13, 14 父が子を憐れむように、エホバはご自分を畏れる人たちを憐れんだ。14 神は私たちの造りをよく知っている。私たちが土でできているにすぎないことを覚えている。を読む。) エホバの優しい思いやりなどの魅力的な性格について考えると、いつまでもエホバに仕えたいと思うのではないでしょうか。

11. 私たちがエホバに仕える別の理由は何ですか。

11 さらに、私たちがエホバに仕えるのは、②それが正しいことだからです。 (マタ 4:10 その時、イエスは言った。『離れ去れ、サタン！『あなたが崇拜すべきなのはエホバ神であり、この方だけに神聖な奉仕をしなければならない』と書いてあるのです。) エホバへの忠誠を貫けば、たくさん良いことがあります。(1)エホバの名前を神聖なものにすることができます。(2)サタンがうそつきだと証明して、お父さんエホバに喜んでもらうこともできます。今、エホバに仕えることを選ぶなら、(3)いつまでも生きてエホバに仕えられるようになります。 (ヨハ 17:3 永遠の命を得るには、唯一の真の神であるあなたと、あなたが遣わされたイエス・キリストのことを知る必要があります。)

12-13. ジェーンとパムが経験したことから、どんなことを学べますか。

12 若くても、エホバへの愛を育て、その愛をどんどん強くしていくことができます。ジェーンとパムのことを考えてみましょう。*一部の名前は変えてあります。2人が聖書を勉強し始めた時、姉のジェーンが11歳、妹のパムは10歳でした。2人の両親は、エホバの証人との聖書レッスンに興味を持ちませんでした。でも週末に家族みんなで教会に行くことを条件に、娘たちが聖書レッスンをすることを許してくれました。ジェーンはこう言っています。「エホバの証人から聖書を学んでいて本当に良かったです。学校の子たちはドラッグを使ったり、不道徳なことをしたりしていましたが、私はそういう同調圧力に負けずに済みました」。

13 数年後、2人は伝道者になりました。その後開拓奉仕を始めました。高齢になった親の世話をしながら開拓奉仕を続けました。これまでを振り返ってジェーンはこう言っています。「エホバが親身になって支えてくださることを実感しました。テモテ第二2章19節それでも、神が据えた強固な土台は揺らぐことがなく、次の言葉が刻まれています。「エホバ(*)はご自分のものである人たちを知っている」。「エホバ(*)の名を呼ぶ人は皆、不正を退けるべきである」。にあるように、『エホバはご自分のものである人たちを知っている』んです。確かに、愛の気持ちからエホバに仕えることを選んだ人たちを、エホバは支えてくださいます。

14. 傷つけられてきたエホバの評判のために、私たちには何ができますか。 (写真も参照。)

14 私たちは、これまで悪く言われてきたエホバについて、本当のことをみんなに知らせたいと思います。こんな場面を考えてみてください。あなたには親切で気前が良く、心の広い、仲がいい友達がいます。でも、誰かがその人は冷たくて不正直だ、と悪口を言うとしたらどうでしょうか。その友達のために声を上げるはずです。サタンとサタンにいいように使われている人たちも、エホバについてのうそを広めてエホバの評判を傷つけています。それで私たちはエホバのために声を上げ、エホバについて本当のことをみんなに知らせたいと思います。 (詩 34:1 私はいつもエホバを賛美する。賛美の言葉は絶えず私の口にある。イザ 43:10 エホバはこう宣言する。) 「あなたたちは私の証人である。私に仕える者であり、私が選んだのである。あなたたちが私を知り、私に信仰を持ち(*私を信頼し)、私が変わらないことを理解するために。私の前に存在するようになった(d*形作られた)神はおらず、私の後にもいない。) 私たちはエホバを愛し、仕えたいと願っていることを、話すことや行うことで表していきたいものです。



エホバの評判を守るためにあなたには何ができますか。 (14 節を参照。)

*写真や挿絵: 大会会場の外で反対者たちの主張を耳にした女性が、文書カートの所にいるエホバの証人から話を聞いている。

15. エホバのために生き方を変えたパウロはどんな素晴らしい経験をしましたか。 (フィリピ 3:7, 8)

15 私たちはいつもエホバに喜んでもらえるような生き方をしたいと思っています。使徒パウロもそう願って生き方を変えました。当時の社会での高い地位を喜んで手放し、キリストの弟子としてエホバに仕えることを選びました。 (ガラ 1:14 そして、多くの同年代の同胞よりもユダヤ教に打ち込み、はるかに熱心に父祖たちの伝統に従っていました。) そういう選択をしたので充実した人生を送ることができ、イエスと一緒に王として統治する機会も与えられました。パウロはエホバのために選んだ生き方を決して後悔しなかったはずです。私たちもエホバのために生きるなら、決して後悔することはありません。 (フィリピ 3:7, 8 しかし私は、得だと思っていた事柄を、キリストのゆえに、損だと思うようになり(if*喜んで捨て)ました。 8 それどころか、主であるキリスト・イエスについての知識に極めて大きな価値があるので、ほかの何もかもを損だと思っています。私はキリストのためにあらゆるものを失いましたが、そうしたものが多くのくず(*ごみ)のようだと思っています。キリストを得て、を読む。)

16. ジュリアからどんなことが学べますか。 (写真も参照。)

16 エホバに仕えることを一番大切にするなら、今も将来も素晴らしい人生を送ることができます。ジュリア姉妹について考えてみましょう。ジュリアは小さい時から教会の聖歌隊で歌っていました。ジュリアの歌唱力はあるプロのオペラ歌手の目に留まり、トレーニングを受けることに

なりました。ジュリアの才能は開花し、有名なコンサートホールで歌うようになりました。また、音楽を学ぶために名の知れた学校にも通っていました。その時に、あるクラスメートから神について教えてもらい、その神にはエホバという名前があることを知りました。その後間もなくジュリアは聖書レッスンを始め、週に2回学ぶようになりました。やがてジュリアは音楽の世界でキャリアを積むのではなく、エホバのために自分の人生を捧げることを決意しました。そうするの簡単ではありませんでした。ジュリアはこう言っています。「みんなから『そんなに才能があるのにもったいなさ過ぎる』と言われました。でも私はエホバのために生きたいと思いました」。ジュリアは30年以上前に下したこの決定について、今どう感じているでしょうか。こう言っています。「全然後悔していません。そしてエホバが将来、私の心の願いを全てかなえてくれることを楽しみにしています」。(詩 145:16 あなたは手を開いて、生きている全てのものの願いをかなえる。)



エホバに仕えることを一番大切にするなら、最高の人生を送れる。(16節を参照。)

*写真や挿絵: 再現。エホバのために生き方を変えたジュリア。

これからもエホバに仕え続ける

17. 今の世界の終わりが近いことは、エホバに仕えることを選んだ人にとって何を意味しますか。まだそうしていない人にとってはどうですか。

17 今の世界の終わりが近づいています。使徒パウロはこう書いています。「あと『ほんのしばらく』すれば、『来ることになっている方は到着します。遅れることはありません』」。(←ヘブ10:37) この言葉から何が分かりますか。人がエホバに仕えるかどうかを決められる時間はどんどん少なくなっています。ということです。(コリー 7:29 兄弟たち、私は次のことを言います。残された時は少なくなっています。今後、妻がいる人は妻がいない人のようになってください。) また、エホバに仕えることを選んだ人が苦しい目に遭うとしても、それは「ほんのしばらく」の間だけだということも分かります。

18. イエスとエホバは私たちにどうしてほしいと思っていますか。

18 イエスは自分の後に従う生き方を始めるだけでなく、その生き方を続けるようにと教えました。(マタ 16:24 それからイエスは弟子たちに言った。「誰でも私に付いてきたいと思うなら、自分を捨て、苦しみの杭を持ち上げ、絶えず私の後に従いなさい。) それで、これまで何年頑張ってきたとしても、これからも諦めずにエホバに仕え続けましょう。エホバのために生きるとい

う決定を貫くために一生懸命努力してください。もちろん、大変なこともあります。でもエホバはあなたに今も素晴らしい報いを与え、充実した生活を送れるようにしてくれます。（詩 35:27 しかし、私の正しさを喜ぶ人は歓声を上げますように。絶えずこう言いますように。「エホバがあがめられますように。ご自分に仕える人の平和を喜ぶ方が」。）

19. ジーンからどんなことが学べますか。

19 エホバに仕えるなら人生を楽しめなくなると思う人もいます。若い人であれば、エホバに仕えると何かを得損なってしまうと思うかもしれません。ジーンという若い兄弟はこう言っています。「エホバの証人の生き方は窮屈で楽しくないと感じていました。自分は集会や伝道に行かなければいけないのに、周りの子たちは好きなことをして楽しんでいるんです。みんな、パーティーに行ったり、好きな子と付き合ったり、暴力シーンの多いゲームをしたりしていました」。ジーンはどうなりましたか。こう言っています。「裏で悪いことをするようになりました。最初は楽しかったですが、だんだん気持ちは冷めていきました。それで、これまで無視してきた聖書の教えに真面目に向き合うことにしました。そして、エホバに心から仕えようと決めました。エホバとの距離がぐっと縮まって、自分の祈りに全部答えてくれているように感じています」。

20. どんな決意を持つのは大切ですか。

20 詩編を書いたある人はエホバに向かってこう歌いました。「幸せです、あなたに選ばれて近くに招かれ、あなたの庭に住む人は」。（詩 65:4 幸せです、あなたに選ばれて近くに招かれ、あなたの庭に住む人は。私たちはあなたの家の良いものに満足します。あなたの聖なる神殿(*聖なる所)で。）これからも、次のように言ったヨシュアと同じ決意を持つようにしましょう。「私と私の家の者はエホバに仕えます」。（ヨシュ 24:15 もしエホバに仕えることが良くないと思えるなら、川(ユーフラテス川のこと)の向こうで父祖たちが仕えた神々であれ、今住んでいる土地のアモリ人の神々であれ、誰に仕えるかを今日自分で選びなさい。しかし、私と私の家の者はエホバに仕えます」。）

どんなことを学びましたか

1. イエスがエホバに仕えることを選んだのはどうしてですか。

・S04-05 ①エホバを愛していたからです。その愛はどんなことがあっても変わらなかった。②エホバに仕えるのは正しいことだと分かっていた。イエスは、命がエホバから来ていること、そしてエホバがいつも信頼でき、良いものを惜しみなく与えてくれる方だということも知っていた。③イエスは自分がエホバに忠誠を尽くすならどんな良い結果になるか（最後まで諦めないなら、エホバの名前を神聖なものにすることができる、また、サタンのせいで人類に入り込んだ罪と死などの悪いものを取り除くこともできること）を見つめていた。

2. エホバを崇拜するのが当然といえるのはどうしてですか。

・S07 パウロはアテネの人々に、「全ての人に命と息と全ての物を与えていた」本当の神がいることを伝え、「私たちは神によって命を持ち、動き、存在しています」とも言った。エホバは「1人の人から全ての国の人を造った」創造者で、エホバを崇拜するのは当然のことといえまる。

・S08 エホバは全てのものを造った宇宙の主権者なので、自分に仕えるよう強制することもできるが、決してそんなことはしない。そうする代わりに、自分が実在していて、人間一人一人を深く愛していることが分かるようにしてくれている。エホバは1人でも多くの人に永遠に生きて自分との友情を楽しんでほしいと思っているので、私たちをトレーニングし、これからエホバがどんな素晴らしいことをしようとしているか、上手に語れるようにしてくれている。また、私たちを大切に思い、会衆や優しい長老たちを通して世話を受けられるようにしてくれている。

・S09 エホバの大きな愛は、エホバのことを信じようとしない人にも表されて、必要なものを与えるだけでなく、生活を楽しめるようにもしてきた。温かい友情を築いたり、家族を持って子育てをしたり、働いてやりがいを感じられるようにもしてくれている。

3. 私たちがエホバに仕えたいと思うのはどうしてですか。

・S10 私たちもイエスのように①エホバを心から愛しているから。例えば、エホバは人間のことを思いやり、進んで許してください。

・S11 私たちがエホバに仕えるのは、②それが正しいことだから。エホバへの忠誠を貫けば、たくさんの良いことがある。(1)エホバの名前を神聖なものにすることができ、(2)サタンがうそつきだと証明して、お父さんエホバに喜んでもらえ、(3)今、エホバに仕えることを選ぶなら、いつまでも生きてエホバに仕えられるようになる。

28番の歌 エホバの友となる

△ 一部の名前は変えてあります。

△ 写真や挿絵: 大会会場の外で反対者たちの主張を耳にした女性が、文書カードの所にいるエホバの証人から話を聞いている。

△ 写真や挿絵: 再現。エホバのために生き方を変えたジュリア。

△ (ヨシュ 24:15) もしエホバに仕えることが良くないと思えるなら、川*の向こうで父祖たちが仕えた神々であれ、今住んでいる土地のアモリ人の神々であれ、誰に仕えるかを今日自分で選びなさい。しかし、私と私の家の者はエホバに仕えます」。

ユーフラテス川のこと。

△ (イザ 48:17, 18) あなたを救う*方、イスラエルの聖なる方、エホバはこう言う。「私エホバは、あなたの神である。あなたのためになる生き方を教え、あなたを導いて正しい道を歩ませる。 18 あなたが私のおきてに注意を払いさえすれば！ そうすれば、あなたの平和は川の流れのように豊かになり、あなたの正しい行いは海の波のように多くなる。

直訳、「買い戻す」。